

## 【教育目標】

- よく考え、最後までやりぬく子(知育)
- 思いやりがあり、助け合う子(徳育)
- 進んで体をきたえる子(体育)

## 【めざす学校像】

児童や教職員、一人一人が持つ良  
さや強みが発揮できる学校  
～6年生がお手本となる学校～

学校だより

「はんだますい」

開き・関わり・育む

第18号  
(R8.1.8)

坂田小学校  
校長 金城美奈子



幸多い一年に！

～あけましておめでとうございます～

新しい年がスタートしました。昨年は保護者・地域の皆様には学校教育へのご支援・ご協力頂き大変ありがとうございました。お陰様で子ども達は元気に生き生きと学校生活を送ることができました。スポーツ面、文化面、各種コンクール等においても数多くの活躍をすることができました。今年も応援をお願いします。

さて、2026年は午年です。馬といえば、力強く、速く、そして仲間とともに進む姿が印象的です。古くから「馬は人を千里運ぶ」と言われるように、馬は遠くまで運んでくれる頼もしい存在です。私たちも、子どもたちの未来を遠くまで運ぶ“馬”のように、力を合わせて前進していきたいと思います。馬にはもう一つ特徴があります。それは「走りながら考える」こと。止まってばかりではなく、動きながら工夫し、挑戦する姿勢が大切です。教育現場も同じです。変化の激しい時代だからこそ、柔軟に対応しながら、子どもたちにとって最良の学びを提供していきたいと考えております。

冬休み明けの校長講話では「一年の計は元旦にあり」と、今年の目標をもって過ごすことの大切さについて話しました。特に物事を考え、実行する力や心の成長のためには、「めあてをもって、学ぼうとする前向きな姿勢」が大切です。行動力のある人とそうでない人の違いは何か。それは、「今何をすべきか」を考え、決定し、「行動に移す習慣が身についているかどうか」が分かれ目です。そこで、まず、第一に、自分で「めあてを決める」こと。第二に、めあてに向かって「やるべきことを決める」こと。まず初めにやること、それができたら次に、いつ、どのようにやるかという順番を決めることです。そして、第三に、「実行に移す」ことです。実行に移す習慣を身に付けることで、一人一人の夢や願いが一步步実現に近づきます。自分の力を信じて努力できる二学期後半にして欲しいと思います。

令和8年の目標・めあてを立てた坂田っ子の今年の成長が楽しみです。ご家庭でもお子さんの今年の目標・めあてを話題に取り上げて頂き、夢の実現につながる日々の努力を積み重ねられるように引き続き応援ください。よろしくお願いします。



心とこめて丁寧に！  
～校内新春書き初め～



1月6日（火）7日（水）二日間にわたり、低学年は硬筆、中高学年は毛筆で、新年の思いを字に込めて書き初めを行いました。それぞれの学年、お手本を基に心をこめて丁寧に作品を仕上げました。落ち着いた雰囲気の中で集中して書き初めに挑戦している姿は、新年への期待と決意が感じられました。

